

## あ と が き

昨年の夏にひき続く酷暑のなか、透析医の宿命か、ほとんど休日もなく診療に研究にお励みのことと存じます。

さて、本年度最初のVol.11 No 1 (23号)をお届けします。今回は内容の濃い原稿を多数いただき、広報委員会としては大変有難く感謝申し上げます。何しろ、臓器移植と同様で“モノ”がないと仕事になりませんので。

ただ、欲を言えば、ご寄稿いただいた方々が“いわゆる執行部”に片寄りがちな事で、次号には多くの会員からの鮮烈な原稿をいただきたいものと思っております。

ご協力をお願い申し上げます。

(広報委員長 奥田健二)